YOKOTE JC ニュース

雲外に蒼天あり ～想いに向かって突っ走れ‼～

2019 新年号

理事長
和泉　康允

2019年度を迎えて

新年明けましておめでとうございます。
日頃より当青年会議所に対し皆様からの多大なるご支援、ご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。
入会して6年目の年。今まで多くの役割を与えていただき、たくさんの経験をさせていただきましたが、今年度は理事長という大役を仰せつかり、嬉しい反面、身の引き締まる思いを感じております。
さて、今年度は「雲外に蒼天あり～想いに向かって突っ走れ‼～」のスローガンのもと運動を展開してまいります。雲外の雲は困難や壁を指しており、努力し乗り越えることで心地よい蒼天を望めるという意味を持っております。想いは十人十色。しかし、横手を想う気持ちは皆同じはずです。どんな困難が立ち塞がろうとも会員一丸となり、「明るい豊かな社会」の実現を旨に、1年間突っ走ってまいります。
結びに、当青年会議所は今年度29人でのスタートとなります。
今後とも変わらぬご厚誼とご指導のほど、よろしくお願い申し上げますと共に、皆様におかれましては本年が素晴らしい年になりますことを御祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

副理事長・専務理事を担当するにあたり

副理事長　津村　侑弥

新年明けましておめでとうございます。
2019年度、まちづくり委員会の担当副理事長を仰せつかりました津村侑弥と申します。
昨年度はまちづくり委員会の委員長として、当会議所と同じく横手のまちのために活動する団体と協働し、「よこラボプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、伝統食に関する事業を実施することができました。市内各団体の皆様のお力添えに感謝申し上げます。
2019年度も当委員会では、「協働というラボからまちを動かそう！」をテーマに実行委員会を継続し、事業を構築してまいります。活動する中で生まれた団体同士の絆を一過性のものとするのではなく、より大きな輪となり1つの団体だけでは実現できなかったことが、協働することで可能となるまちを目指します。
年男である今年、初委員長の永須 巧 君が描く理想を形にするべく、委員と共に力を合わせ、蒼天に向かって猪突猛進、突っ走ってまいります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

副理事長　小野寺 勝也

新年明けましておめでとうございます。
2019年度は和泉理事長のもと、執行部の一員として副理事長の職務をいただきました。
私が担当する会員拡大委員会では「アクティブ拡大！～みんなでやれば広がる輪」をテーマに全身全霊で会員拡大に取り組んでまいります。2019年度は会員数30名を下回り、過去を振り返っても最も少ない人数でのスタートです。会員が少ないから組織として力を発揮できない訳ではありませんが、私たちが目指す「明るい豊かな社会」を実現させるためにはより多くの同志と共に、より効果的な運動の展開が求められます。
2019年度はこれまでの拡大活動からの脱却を目指し、実績を求めた活動を行っていきます。全会員と今の危機的状況を共有し、全会員が当事者意識を持った拡大活動を行える基盤作りに力を注ぎます。多くの同志を増やし、今後の横手青年会議所を担っていく人材を育てていくことが私たちに課せられた使命であります。
自分自身の責任を自覚し、与えていただいた職務を全うできるよう努めてまいります。

副理事長　熊谷　剛

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は当委員会の活動に対し格別のご理解とご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。2018年度は執行部の一員として青少年育成委員会の担当副理事長を仰せつかりました、熊谷剛と申します。皆様からご指導ご鞭撻いただきながら、自己成長の『修練』、まちづくり・ひとづくりの『奉仕』、それらを通して芽生える『友情』を強く意識して１年間精進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。
『雲外に蒼天あり～想いに向かって突っ走れ！！～』のスローガンのもと、希望あふれる青少年の育成を基本方針として活動してまいります。子どもたちが成功体験を経て自信をもつ事で、自らの可能性を引き出し、未来を描くができる事を目指します。
今年度は「選挙」「野外活動」「体験学習」の３つのテーマで事業を展開いたします。まちづくり・ひとづくりのため、確固たる意志を持ち、想いに向かって突っ走ります！

専務理事　髙橋　征宏

新年明けましておめでとうございます。
本年度は専務理事を務めさせていただきます。専務理事の役職について考えました。
私の家は大晦日に若水の風習があります。「あらたまの年のはじめに柄杓取りて万の宝汲みぞ集める」と声を出して雑煮の水を汲むものです。新年を迎える喜び、希望を汲み上げる箴言だと体験的に理解しています。一般的ではないと思いますが、締めるという意味で良い習慣だと思っています。それを怠ってしまったら伝統は継続されません。
本年の私の役目は、先輩諸兄が紡いで下さった歴史を進化させるためにあると考えています。また、会の発展を促す立案をし、意見を受けいれ、そうして包括的な判断をする立場にもあります。
曇天の向こう側、蒼く澄んだ空の爽やかさを心に持ち続け、総務・事務局一同、会の運営に尽力してまいります。
皆さまこの１年、どうぞよろしくお願いいたします。

年頭にあたって

横手市長
髙　橋　　大

あけましておめでとうございます。2019年の初春を迎え、皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日ごろから青年会議所の皆様におかれましては、柔軟な感性、そして情熱と若さあふれる行動力で、地域に密着した活動を続けていただいていることに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、２期目の市政運営を担わせて頂いてから一年が経ちました。これまで、皆様方からさまざまなご意見やご要望を頂戴しながら、企業誘致や産業の育成、企業支援を進め、雇用の創出とともに人口減少・若者の市外流出に歯止めをかけることに全力で取り組んでまいりました。本年も『第２次横手市総合計画』の将来像にある『人と地域が燦（かがや）くまち』の実現のため、10年、50年先を見据えたビジョンを明確に描きながら、市民の皆様とともに横手の底力を更に引き出してまいります。会員の皆様には、今後なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭のご挨拶

横手商工会議所　会頭
奥　山　和　彦

平成31年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、全国高校野球選手権第100回記念大会で金足農業高等学校の躍進により「金農旋風」が吹き荒れ、その健闘に称賛が集まるとともに、秋田県が注目される年となりました。その一方、2018年の今年の漢字「災」が示すように相次ぐ大型台風の襲来や北海道胆振東部地震など大きな被害をもたらす自然災害に見舞われた年でもありました。

横手商工会議所は「よこて創生」のけん引役として、この地域の更なる活性化を目指し、数多くの事業を行うことができました。これも偏に貴青年会議所をはじめ他機関・団体の皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、2018年度は横手青年会議所にとって４人目となる秋田ブロック協議会会長の輩出を始め、子供たちの判断力を高めることを目的とした「レッツ！キャンプ！ぼくもわたしもレベルアップ大作戦！」、よこラボプロジェクト実行委員会を組織し開催した「横手の伝統おやつ みそっこアレンジコンテスト」等、多岐に渡る活動は、横手市の魅力再発見につながるもので、同じ地域活性化という目標を持つ当所としても大変心強く感じました。

「雲外に蒼天あり～想いに向かって突っ走れ！！～」という貴青年会議所の2019年度スローガンの通り、取り巻く課題に強い想いとチームワークで恐れることなく立ち向かおうとする姿勢は、誠に頼もしい限りであります。

結びに、新しい年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう、また横手青年会議所のますますのご発展とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

まちづくり委員会

委員長　永　須　　巧

新年明けましておめでとうございます。

今年度、まちづくり委員会の委員長を務めさせていただくことになりました永須巧と申します。

当委員会では「協働というラボからまちを動かそう！」をテーマに掲げ、前年度からの継続事業となります「協働」という柱、横手市の市民団体と立ち上げた「よこラボプロジェクト実行委員会」をベースに、横手市のまちの活性化を目指します。2年目を迎える実行委員会では、前年度事業のテーマとなった「伝統おやつ・みそっこ」の商品化等の検証を継続しつつ、新たなまちの課題を選定し、各団体と共に事業を構築してまいります。その中で、各団体間のネットワークの強化、各団体の成長ができる仕組みを組み込んでいければと思っております。

前年度はまちづくり委員会副委員長を経験させていただきましたが、会歴も浅く、今回が初委員長ということで、何かと至らない点がございますが、ご指導ご鞭撻いただけますようよろしくお願いいたします。

青少年育成委員会

委員長　蓬　田　太　一

新年明けましておめでとうございます。

今年度、委員長という大役を仰せつかりました。気持ちを新たに引き締め直し、みなさまのご期待に添えるよう尽力いたします。

さて、青少年育成委員会では和泉理事長の掲げる所信のもと、基本方針・目的を『自信をもって自らの未来を描くことのできる、希望あふれる青少年の育成を目指します』とし、1年間を通して3つの事業を実施してまいります。1つ目は選挙の現況を学ぶ事業。2つ目は野外活動を通じて横手の魅力に触れ視野を広げる事業。3つ目は発想力や表現力を学び自信を身につけさせる事業です。これらの3つの事業は、小中高と幅広い年代の青少年を対象とし、希望あふれる青少年を一人でも多く増やしていく所存です。1年間、目的に向かって突っ走ってまいります。

最後に、初めての委員長として至らない点も多々あるかと存じますが、皆々様のご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

会員拡大委員会

委員長　有　馬　陽　子

新年明けましておめでとうございます。

今年度、会員拡大委員会委員長を務めさせていただくことになりました。

さて、当会では本年度、創設以来最少人数でのスタートとなりました。近年続々と卒業生が増えて人数が減り、事業運営や今後の活動のみならず、会の存続すらも危ぶまれる危機的状況にあります。今後の当会の活動や運動をより良いものにするためにも、会員の総力を挙げて会員拡大へ取り組む必要があります。当会では会員減少の危機感を共有し、会員拡大に対する気持ちを奮起させることを目的として努めてまいりたいと思います。1人1拡大を目指し、30名の拡大を目標として掲げ、委員会一同1年間邁進してまいります。

まだまだ未熟者につき皆様にご迷惑をたくさんお掛けすると思いますが、どうぞ温かい目で見守っていただき、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

総務・事務局

局　長　細　川　拓　也

新年明けましておめでとうございます。

2019年度総務・事務局 局長を仰せつかりました細川拓也と申します。旧年中は当会並びに当局の活動に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございました。

さて、平成最後の年となる2019年度の横手青年会議所は、和泉理事長が掲げる「雲外に蒼天あり～想いに向かって突っ走れ！！～」のスローガンのもと、会員一人ひとりが蒼天を仰げるように新たな決意を持ち運動に邁進してまいります。総務・事務局は、そんな想いを実現させるため、各委員会を全力でサポートをしていく所存です。今年度は、青年会議所の運動をより地域に発信していくため、SNS等での活動報告により力を入れて取り組んでいき、新たな「JCファン」を獲得していくことを目指してまいります。

結びになりますが、横手青年会議所に関わる全ての皆様が素晴らしい2019年になることをご祈念申し上げ、私の年頭のご挨拶に代えさせていただきます。今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

監事
藤井 龍太郎

明けましておめでとうございます。

昨年は高橋司先輩以来５年ぶりに横手 JC より秋田ブロック協議会会長の任を担うことになり本当に多くの方々のご協力、ご尽力のもと終えることができました。

運営専務として松川剛先輩、事務局長として蓬田太一君、事務局次長として安藤雄太君、子野日円美君を始め多くのブロック出向への機会、また東北地区協議会にも多くの出向の機会となりました。

「変わらないために変わり続けよう～変革への一歩～」のスローガンのもと、高校生対象の政治教育、U-11JC サッカー大会、わんぱく相撲、鹿角で行われたブロック大会、各地で予選会も行い、本戦を鹿角で行った地元愛プレゼンバトル ～僕たち私たちのふるさと自慢～など運動を展開してまいりました。

私自身も全国各地、ニューヨーク、インドと多くの学びと刺激、そして本当に多くの友情を育めたことが何ものにも代え難いものとなりました。

結びとなりますが、ＪＣ現役最後の１年を後悔することなく、昨年の経験を LOM にしっかりと還元することをお誓い申し上げ挨拶とさせていただききます。1 年間本当にありがとうございました。

協働（コラボ）事業はじまりました

2018 年、横手青年会議所では初の試みとして、NPO 等の各団体・行政・高校生と共にまちを考えていく「よこラボプロジェクト実行委員会」（以下、「よこラボ」）を発足しました。（よこラボとは、「横手コラボレーション（協働）ラボラトリー（制作室）」の頭文字を取った造語です。）

何が初かと言いますと、今まで青年会議所が事業立案をし、協賛・協力を求めていく形は往々にしてありましたが、よこラボは事業を決定せず、ゼロからまちのことを市民と共に考えるボトムアップ式であるということです。多種多様な視点、立場からの意見がありましたが、話し合いを重ね、発足初年度は横手の伝統食についての事業実施に至りました。意見を集約していく作業は本当に大変ではありましたが、地域と共にあって、これからも必要とされる青年会議所であるために、協働は重要なテーマであると考えています。

市民が行う活動に困りごとがあると感じた時、「よこラボに行けば多くの団体と知り合える」。よこラボ自体、そんなハブ的な団体に成長ができたらと願っています。２年目のよこラボを是非、ご注目下さい。

新入会員紹介

①生年月日　②職種

小松（こまつ）　啓亮（ひろあき）
①S61.12.26
②菓子製造

水谷（みずたに）　舞（まい）
①S62.11.19
②飲食業

一般社団法人横手青年会議所の事業はホームページにも随時掲載しております。

ホームページアドレス　http://www. yokotejc.jp/

■発行日／2019年１月28日
■発行／一般社団法人横手青年会議所　〒013-0021 秋田県横手市大町7-18　横手商工会議所内　事務局　TEL.0182-32-1170
■企画／総務・事務局（細川 拓也・打川 毅・子野日 円美・松井 寛将）　■担当専務理事／髙橋 征宏
■編集・印刷／(株)アイ・クリエイト